



「飛燕」(ひえん) 命名：1期生 柄沢衛氏さん。ロゴ作成：3期生 佐賀田徹。角が丸みを帯びているのは速研内の融和、団結を示し、跳ねている先端の鋭さは速記文字の流れる美しさと勝利に向かっての突進を表している。

号/発行日 /ページ数	発行者/編集者	内 容 (タイトル)	丸数字は学年
第 1 号 S39.8.20 (1964) 50p.	中田 一雄 / 佐賀田 徹	巻頭言	酒井 邦夫③ (副幹事長)
		創刊に際して「ほのかな光」	中田 一雄③ (幹事長)
		〃	佐賀田 徹② (編集部)
		私の速記歴	吉川 寿亮②
		白門祭レポート「アンケート分析」	前田 紘志②
		第 3 回関東学生速記競技会	安田 忠③
		クラブの意義	江郷 弘②
		1年間で振り返って	川瀬 良伸②
		このごろ思うこと	小坂 芳弘④
		速記研究会に入会して	菅間 英夫①
		〃	後藤 正継①
		動機なき入部	前田 紘志②
		座談会で感じたこと	田中 靖啓②
		空と私	岡崎美喜子①
		恋愛愛知	酒井 邦夫③
		幸福(しあわせ)について	森 志津江①
		学生生活とアルバイト	水谷 正典②
		雨	小林 義裕①
		新潟地震と僕の感情	山口 征郎③
		百万人の速記	山田 実②
		私の大学観	前田 修一①
		ゼーゼー白書	進藤 浩二①
		雑言	伊藤 光雄①
		お互いにあいさつを	本城 義之②
		わが郷土弥彦山	柄沢 衛④
		(俳句) いく春を中央の人とおしみける	村田 一則①
		(詩) きょうの私	泉妻 君枝①
		川	近藤 義彦①
		ふるさと	石塚 真一①
		タバコ有益論	仁科 英一②ペンネーム
		ぼくの歴史	青木 哲夫①
		ふしぎな女の化粧	小俣 守民②
		わり込み	松丸 文夫①
写真	小原 孝一①		
彼女	谷田部 平夫②		
愛と死をみつめて	清水 勇治①		
故郷・ホテル	戸谷 茂樹①		
北海道旅行記	中村 和斉②		
速研人物点描	佐賀田 徹②		
(座談会) 速研に入ったの感想	酒井 邦夫③ (司会)		
(柄沢・安田・山口・田中・中村・ 川瀬・谷田部・小原・清水・佐藤・ 松丸・近藤・高山・泉妻・岡崎・森)	吉川 寿亮② (速記)		
編集後記	佐賀田 徹②		
(歌詞・楽譜) 速研ぐれん隊 中央大学速記研究会会則			
第 2 号 S40.4.24 (1965) 50 p.	小俣 守民 / 佐賀田 徹	巻頭言	中田 一雄④ (前幹事長)
		ようこそ速記研究会へ	佐藤久仁男 (会長)
		新入会員のみなさんへ	小俣 守民③ (幹事長)
		第八回学速連競技会	酒井 邦夫④ (実行委員)
		第三回関東大学対抗速記新人戦	(編集部)
卒業に際して(1期生)	柄沢衛 OB (二代委員長)		
〃	小坂 芳弘 (OB)		

		<p>〃 山中 一也 (OB)</p> <p>第五回 雪中の芦ノ湖合宿記 (編集部)</p> <p>合宿雑感 佐竹 康平</p> <p>続・芦ノ湖合宿記 佐賀田 徹③</p> <p>歴史よもやま話 (1)「あけぼの」 松澤昭夫(OB・初代委員長)</p> <p>他校から見た わが中大速研 兼子 次生 (関学④)</p> <p>〃 桜井 雅章 (早大④)</p> <p>〃 小西 俊子 (日女大③)</p> <p>速記を学ぶにあたって (研究指導部)</p> <p>四十年行事予定 (企画部)</p> <p>(詩) 春の日 泉妻 君枝②</p> <p>日本語の雑感 一色 哲慶②ペンネーム</p> <p>はたち 石塚 真一②</p> <p>おれの嫁さんやーい 小俣 守民③</p> <p>ゼミナール 酒井 邦夫④</p> <p>現代の顔 青木 哲夫②</p> <p>家庭教師 谷田部平夫③</p> <p>おのれを語る 佐賀田 徹③</p> <p>感じているもの 岡崎美喜子②</p> <p>(小説) 再開 (1) 龍藤 謙③ペンネーム</p> <p>中央大学速記研究会会則</p> <p>編集後記 佐賀田 徹③</p>
<p>第3号 S40.8.24 (1965) 50 p.</p>	<p>小俣 守民 / 佐賀田 徹</p>	<p>巻頭言 小俣守民③ (幹事長)</p> <p>第九回全日本大学速記競技会報告 吉川 寿亮③ (指導部)</p> <p>(詩) 感 龍藤 謙③ペンネーム</p> <p>第四回関東学生速記競技大会 佐賀田 徹③</p> <p>勧誘風景 (編集部)</p> <p>速記を始めて二ヶ月 後藤 和子①</p> <p>〃 土田五十二①</p> <p>〃 関口 正①</p> <p>(図表) 速記とは? (編集部)</p> <p>歴史よもやま話 (2)「学速連加盟へ」 小坂 芳弘 (OB)</p> <p>(研究) 速記者の構成 吉川 寿亮③</p> <p>(詩) 雨の日に 泉妻 君枝②</p> <p>ある日ある時 中村 和徳①</p> <p>速度感 一色 哲慶②ペンネーム</p> <p>初思い出 高山 福英②</p> <p>歴史ブームを考える 進藤 浩二②</p> <p>初恋 小俣 守民③</p> <p>無題 石原 恵子①</p> <p>ただ何となく (さしたがえ) 清水 勇治②</p> <p>偉そうなことを考えたときのメモ 内間秀太郎②</p> <p>自己紹介 中村 鴻太①</p> <p>(詩) お母さん 卜部 邑子②ペンネーム</p> <p>生きかえった女神像 岡崎美喜子②</p> <p>雑感 浅尾 哲也①</p> <p>飛燕 日下 正人②</p> <p>余りに突飛な空想 中野 義宏①</p> <p>一万円の日 宇賀村妙子②</p> <p>山登り 新井 明①</p> <p>(小説) 再開 (2) 龍藤 謙③ペンネーム</p> <p>中央大学速記研究会会則</p> <p>編集後記 佐賀田 徹③</p>
<p>第4号 S41.4.27 (1966) 50 p.</p>	<p>進藤 浩二 / 宇賀村妙子</p>	<p>巻頭言 進藤 浩二③ (幹事長)</p> <p>希望に燃える新入会員の皆さまに 佐藤久仁男 (会長)</p> <p>学習上の注意 (研究指導部)</p> <p>第十回全日本学生速記競技大会 (編集部)</p> <p>第四回関東大学対抗速記新人戦 久保田恵子②</p> <p>第八回春季合宿あれこれ 前田 修己③ (企画)</p> <p>〃 日下 正人③</p> <p>(主張) 速研の現状と将来 吉川 寿亮④</p> <p>走馬灯のように -卒業にあたって- (2期生) 中田 一雄 (OB)</p> <p>〃 山口 征郎 (OB)</p> <p>一年間を振り返って 平山 敏之②</p> <p>〃 泉妻 君枝③</p> <p>〃 伊東 晴太④</p>

		// 角田 勇蔵③ (主張) 速研分析・速記分析 青木 哲夫③ 課外活動のあり方 進藤 浩二③ (詩) 山に消えたあいつ 栗本 保博② 家路にて思う 中村 鴻太② (俳句) 庭上四季 小川 詮隆②ペンネーム おねえちゃんの涙 中村 和徳② 黒ゆり悲話 龍藤 謙④ペンネーム 沖繩拝見 田中 靖啓④ 二年になる 土田五十二② 趣味ということ 宇賀村妙子③ (小説) 再開 (3) 龍藤 謙④ペンネーム 中央大学速記研究会会則 編集後記 宇賀村妙子③
第5号 S41.8.22 (1966) 50 p.	進藤 浩二 / 宇賀村妙子	巻頭言 進藤 浩二③ (幹事長) 第十一回全日本大学速記競技会を終えて 田中 靖啓④ 41年度新会員を迎えて 勧誘・行事報告 小川 晃② // ハイキング・コンパ・野球大会 前田 修己③ // 合同練習会 (編集部) 歴史よもやま話 (3)「活動期に入る」 本城 義之④ 速記研究の手引き 吉川 寿亮④ 私の中の速記 大久保洋子① // 大芝 晃② // 倉沢 和哉② // 仁木由美子① // 松丸 悟① (詩) 風船玉 金井 力夫① ある朝 栗本 保博② 寂 藁品 孝久② 速記 吉見 富子① おりおりのこと 考える 川瀬 良伸④ 山のはなし「およびでない人たち」 中村三千雄?ペンネーム ある精神異常者の手記 品川 均?ペンネーム Mさんという人 石原 正則① 一千万分の一 龍藤 謙④ 俺は人間たり得るか 柳瀬 健夫③ 義務 望月 愛子① 中大セミナーについて 河野 和正② 映画「コレクター」を見て 本間 信吾② 精神分裂ノ歌 芳賀 普生?ペンネーム サボテンの痛くないとげ 上林 幹雄① 映画の筋と内容のスケール 日下 正人③ 雑感 春田 均① 速記文字の文化性について思うこと 青木 哲夫③ 姉 本田 豊美? (座談会) 悔なし! 速研入部 進藤 浩二③ (司会) (松丸・上林・青木良・青木由・池田・ 大久保・小守・佐藤和・柳瀬・中村和斉・ 吉川・青木哲・川瀬) 会員寸評「ちっともこわくないや……」 (編集部) 機関誌“飛燕”の名称由来について (編集部) 中央大学速記研究会会則 編集後記 (編集部)
第6号 S41.12.16 (1966) 40 p.	進藤 浩二 / 宇賀村妙子	巻頭言 角田 勇蔵③ (副幹事長) 幹事の任を終えるにあたって 進藤 浩二③ (幹事長) // 角田 勇蔵③ (副幹事長) // 松丸 文夫③ (指導) // 青木 哲夫③ (総務) // 佐藤 憲雄③ (会計) // 前田 修己③ (企画) // 宇賀村妙子③ (編集) 第五回関東学生速記競技大会 (編集部) 第九回志賀高原合宿の記 小川 晃② // 初参加して 上林 幹雄① 関東四大学合同ハイキング (編集部) 白門祭回顧 進藤 浩二③

		<p>第五回関東大学対抗速記新人戦 …………… (編集部) // …………… 春田 均① 第二回速研ダンス・パーティ主催記 …………… (編集部) 歴史よもやま話 (4)「軌道に乗ったクラブ活動」 (研究発表) 符号研究の態度 …………… 佐賀田 徹④ ゆうじょうだんぎ 彼との付き合いで …………… 吉川 寿亮④ 思い出の中に …………… 日下 正人③ 「友情」について …………… 増田 俊夫② 友だち …………… 龍藤 謙④ 天観酒落斉 …………… 土田五十二② 友情について …………… 東(あずま)秀徳② 全日大会のあり方に思う …………… 青木 良一② 全日大会感ずるまま …………… 泉妻 君枝③ 大会に向かうとき …………… 齊藤 滋② 「話し合い」の成功を期待して …………… 岡本 文徳① 職業について …………… 平山 敏之② 教育実習に参加して …………… 田中 靖啓④ 先輩だより「カズちゃん」の近況 …………… 前田 紘志④ // 拝啓 会員の皆さまへ …………… 中田 一雄 (OB) 編集後記 …………… 安田 忠 (OB) 宇賀村妙子③</p>
<p>第7号 S42.5.1 (1967) 34 p.</p>	<p>中村 和徳 / 小川 晃</p>	<p>巻頭言 …………… 中村 和徳③ (幹事長) 希望に燃ゆる新会員諸君へ …………… 中村 鴻太③ (副幹事長) 新入会員のために 速記を学ぶにあたって …… (研究指導) 第12回全日本大学速記競技大会 第二位に …… (編集部) 第9回芦ノ湖畔合宿 …………… 石原 正則② 卒業に際して …………… 佐賀田 徹 (OB) // …………… 八幡 武夫 (OB) // …………… 本城 義之 (OB) 研究開始 …………… (研究指導部) (座談会) 速研生活1カ年 2年生会 …… 石原 正則② (司会) (松丸・小山・小林・岡本・仁木・上林・ 吉岡・河田・島田・吉見・青木・坂本) 影と青春 …………… 上林 幹雄② 孤独と愛について わが恣意的人生観 …… 中村 鴻太③ こんな気持 …………… 平山 敏之③ 生活の感想 …………… 青木 良一③ (俳句) 九冬 …………… 小川九朗詮隆③ペンネーム 昔、男 …………… 佐々木幸二③ 編集後記</p>
<p>第8号 S42.12.8 (1967) 70 p.</p>	<p>中村 和徳 / 小川 晃</p>	<p>巻頭言 …………… 中村 鴻太③ (副幹事長) 1967年度 中大速研活動記録 …………… (編集部) 第13回全日本大学速記競技会 …………… (編集部) 第6回関東学生速記競技大会 …………… (編集部) 第6回関東大学対抗速記新人戦 …………… (編集部) (部内アンケート) クラブに対する意識調査 …… (編集部) 会員論壇 クラブ統一のために …………… 中村 薫① われわれ一年生の義務 …………… 河村 正史① 「怠惰の排除」 …………… 相川 通夫① 問題解決の根本 …………… 上林 幹雄② 運営遂行面における一考察 …… 土田五十二③ (座談会)「明日の速研のために」 …… 中村 鴻太③ (司会) (中村和・土田・平山・青木由・ 春田・上林・小林・長瀬・岡田・石野) 白門祭レポート …………… 中村 和徳③(実行委員長) 議会における速記の活用状況 …………… (編集部) (研究発表) 速記と作業能力、性格、向性との関連性 …………… (研究指導部) 「葉の思い」 …………… 上林 幹雄② (詩) 陽光 …………… 小林千賀子② フランケンシュタイン型人生 …………… 東 秀徳③ 私の趣味 …………… 吉見 富子② (詩) ある死 …………… 関根 英瑞② 見 …………… 青木 良一③ 謙虚(教授) …………… 小林 久則① 随想 …………… 大久保博道②? (詩) …………… 浜安信枝/佐野千恵子①</p>

		地下鉄見聞録 石澤 和子① 不安 内田 孝一③ (詩) 秋雨のまわり道 平山 敏之③ 朝 稲毛 葉子① 描写 市川 健② 恋の海辺 角田 勇蔵④ このごろ 岡野 敬子① あの人達 長瀬 喬① 政府のテレビ番組規制に対して 藤井 昭② 血で書かれた夢 岡田 達夫① わが十八人の彼女のために 中村 鴻太③ 「忍ぶ川」に見る理想の女性像 中野 聖① 地獄と天国 高橋 泰子① 愛してるよ、御両親様 中村 和徳③ 私のアダモ 春田 均② (詩) 石井 京子① OB会発足 柄沢 衛 (OB) 中央大学速記研究会会則 編集後記 小川/石原/春田
第9号 S43.6. (1968) 54 p.	春田 均 / 仁木由美子	巻頭言 春田 均③ (幹事長) 第14回全日本大学速記競技大会 (編集部) 〃 全日雑感 上林 幹雄③ 第15回全日本大学速記競技大会 (編集部) 中大速研創立から現在までの歴史 (編集部) 速記界各競技会の紹介とその意義 吉川 寿亮 (OB) 合宿 (編集部) 白門祭について (編集部) GLCについて 宇野 悟② 学費斗争と速研 中村 鴻太④ ある人の常なる思考の外で 中村 和徳④ 速研の存在意義 土田五十二④ 「ある痴色人の対話」 (?) 新入会員を迎えて 宇野 悟② 新入生へ 相沢 秀光② (座談会)「昨年を振り返って」 保坂 誠② (司会) (浜安・中野・矢部・長瀬・中村薫・ 高橋・宇野・石沢・稲毛・東・関根) (詩) 電車の窓から 岡田 達夫② (速記) 私と音楽 高橋 泰子② 目の回る思い出 中村 薫② 思い出の小径 青木 良一④ 緑色と灰色 石沢 和子② (詩) 戦い 上林 幹雄③ ある休日 市川 健③ 特性諸氏へもの申す 大久保洋子③ ある日記とある手紙 矢部 幸生② ぼくとボーリング 石野 常久② (詩) ある過去 そして今 小守 啓介③ 雑感 春田 均③ あいむ 青木 由秋③ 私の好きなもの 関根 英瑞③ とんくんとお日様と..... 長瀬 喬② 思い出 中村 和徳④ ジョンソン演説に見るアメリカ経済 吉岡 正和③ (詩) “女とは” 中村 和徳④ 小さな想い 羽田 壽子③ 雑感 上林 幹雄③ 新入社員 吉川 寿亮 (OB) 心境の変化 松丸 文夫 (OB) 龍藤謙『愛の作品集』より 泉妻 君枝 (OB) 編集後記 佐賀田 徹 (OB)
第10号 S44.2. (1969) 42 p.	春田 均 / 仁木由美子	巻頭言 上林 幹雄③ (副幹事長) 第七回関東大学対抗速記新人戦 (編集部) 第16回全日本大学速記競技大会 (編集部) (部内アンケート) 速研会員の学生意識調査 (編集部) 〃 アンケートのお答えして 宇賀村妙子 (OB)

		<p>川瀬 良伸 (OB) 中田 一雄 (OB) 卒業に際して 平山 敏之④ 鈴木 光男④ 増田 俊夫④ 小川 晃④ 石原 恵子④ 土田 五十二④ 青木 良一④ 中村 鴻太④ (詩) 「ロづけ」 市川 健③ 自信 ? ② 長生き 高橋 泰子② 「神の存在」 青木 由秋③ (詩) 石沢 和子② ことば 長瀬 喬② 「あなたは会員です」 矢部 幸生② 私の目 宇野 悟② 「ある秋の終わりに」 相川 道夫② 風呂論 街 愚生?ペンネーム 愛華夢 岡田 達夫② (詩) 岡野 敬子② 五月十九日 石野 常久② 秘境大奥に行く 吉見 富子③ 「愛が終って」 関根 英瑞③ 北九州めぐり 藤井 昭③ 内気 中村 薫② 母を語る 中野 聖② 速研生活の追想 鈴木 光男④ 中央大学速記研究会会則 編集後記</p>
第 11 号 S46.12. (1971) 58 p.	木村 信市 村瀬 偉子	<p>巻頭言 平出 和生③ (副幹事長) 第 21 回全日本大学速記競技大会 (編集部) 第 10 回関東学生速記競技大会 (編集部) 中大速研史 木村 信市④ 1 年を省みて 木村 信市④ (幹事長) 宮内 始② (指導部長) 成毛 誠② (企画部長) 高嶋 洋子③ (総務部長) 村瀬 偉子③ (編集部長) 井田 富美子② (会計部長) 二年生会のあり方 増井 清孝② 一年生会を省みて 笹野 勝己① (座談会) 創立 10 周年目の今年をふり返って 村瀬 偉子③ (司会) (木村・高嶋・宮内・増井・斉藤・ 笹野・瀬戸・豊岡) 速研内部に改良を望む 笹野 勝己① (詩) 流れ 春田 均 (OB) しゃぼん玉 加藤美智子② 私の速記経験をふりかえって 田仲 正見① 落書き 佐藤 司① 大学と人間形成 大橋 澄夫② 暗雲の中の問答 設楽 学① いま思うこと 成毛 誠② 速研科を卒業して 高橋 泰子 (OB) ことし、そして..... 木村 信市④ (俳句) 福岡 伸哉① (詩) 恋の童話 上林 幹雄 (OB) 団結 瀬戸 隆信① おとな 皆川 良造① 生きがい 増井 清孝② 人 山崎 厚太② 思うまま 西川 和明② 連帯あつてのサークル 宮内 始② (詩) 君たちに たむら? 一日 平出 和生③ 夜に近い朝 村瀬 偉子③</p>

		(童話)『鶴の子』……………野村多津子② 『雑感』……………三好 公明④ ふるさと……………勝田 潔① 旅情 金沢……………市川 健 (OB) 雑記……………宇野 悟 (OB) 姫路城……………井田富美子② 南房総の旅……………斉藤 栄① (詩) 君よ……………宮前 憲一② 昭和46年度会員プロフィール……………(編集部) 編集後記……………村瀬・酒井・勝田・千吉良
第12号 S47.12.8 (1972) 42 p.	増井 清孝 宮内 始	巻頭言……………成毛 誠③ (副幹事長) 第22回全日本学生速記競技大会……………(編集部) 第11回関東学生速記競技会……………(編集部) 第23回全日本学生速記競技大会……………(編集部) 第11回関東大学速記新人戦……………(編集部) 一年を省みて……………増井 清孝③ (幹事長) ……………成毛 誠③ (副幹事長) ……………田仲 正見② (指導部長) ……………笹野 勝己② (企画部長) ……………千吉良ますみ② (編集部長) ……………大橋 澄夫③ (会計部長) ……………瀬戸 隆信② (総務部長) 学年会……………野村多津子③ ……………佐藤 司② ……………大本 佳宏① 速研について感じる事・思う事……………佐々木 悟① 別にこれと申し上げることはありませんが 高岡 信也① ふと感じた事……………大橋 一晃② 速研に関して……………大本 佳宏① ぼやき……………山本 武男① つぶやき……………村瀬 偉子④ From my diary……………千吉良ますみ② (詩) 白い恋人たち……………加藤美智子③ 錯覚……………大橋 澄夫③ 転期……………増井 清孝③ 「あるもの」……………山崎 厚太③ (詩) 枯草……………古谷 郁男① 雑感……………井田富美子③ 学生裏街道……………大本 佳宏① 「生きる事」・「死ぬ事」……………八木 路子① 「あの人」と共に……………佐藤 司② 速研の人たちどんな人……………笹野 勝己② 初秋……………野村多津子③ 特別寄稿「毛談義の一端」……………佐藤久仁男 (会長) 親愛なる速研の諸君に……………吉川 寿亮 (OB) 孤独の夢……………岡田 達夫 (OB) 愛情と執念と夢……………木村 信市 (OB) 編集後記
第13号 S49.1.26 (1974) 40 p.	瀬戸 隆信 大橋 一晃	巻頭言……………佐藤 司③ (副幹事長) 第24回全日本学生速記競技大会……………(編集部) 第12回関東学生速記競技会……………(編集部) 第25回全日本学生速記競技大会……………(編集部) 第26回全日本学生速記競技大会……………(編集部) 第12回関東大学速記新人戦……………(編集部) 幹事雑感 一年を顧みて……………瀬戸 隆信③ (幹事長) ウフフフ……………佐藤 司③ (副幹事長) 二年間の幹事職放免に当たり……………笹野 勝己③ (指導部長) ある反省……………皆川 良造③ (企画部長) サークルを考える 二年生会を振り返って……………山本 武男② 〃 一言……………萩原 巧① 〃 つぶやき……………大本 佳宏② 〃 われらが立脚点を求めよう……………佐々木 悟② 〃 速研のありかたについて……………青木 由秋 (OB) 〃 白門祭運動の経過と速研……………瀬戸 隆信③ 就職のこと……………山崎 厚太④ おいたち……………山本 武男②

		雑感 大橋 澄夫④ 秋の幻想 美濃谷 説子① 大学生生活に思うこと 八木 路子② 高校時代の思い出 扇谷 栄子① 思いっくまま 大橋 一晃③ “ためになるお話” 千吉 良ますみ③ 無題 野村 多津子④ 映画ファンである私の勝手な映画観 田中 利幸① ああ中大 笠井 幸夫① クリスマスに思う 井田 富美子④ ある出来事 平山 和子① 大学に入って 樋口 正一① 日記 — 十二月十一日 — 加藤 美智子④ 国史専攻二年の記 小林 章子② 或る速研員の内的洞察 勝野 康夫③ 和歌山便り 吉川 寿亮 (OB) 弘前 市川 健 (OB) 趣味 川瀬 良伸 (OB) 速記とのつき合い 高橋 泰子 (OB) 中央大学速記研究会会則 編集後記
第 14 S50.1.13 (1975) 52 p.	大本 佳宏 / 古谷 郁男	巻頭言 佐々木 悟③ (副幹事長) あしあと 大本 佳宏③ (幹事長) 佐々木 悟③ (副幹事長) 高岡 信也③ (指導部長) 山本 武男③ (企画部長) 八木 路子③ (総務部長) 小林 章子③ (会計部長) 古谷 郁男③ (編集部長) 特集 サークルの未来像 国枝 律子① 高橋 欣也② 前田 恭江②サークルと私そして今、 石川 高央② 特集 支部展望台 早稲田大学 日本女子大学 学習院大学 十八才と八ヶ月 高梨 真砂子① 気ちがいシリーズ第二弾 水面下への挑戦 田中 利幸② 思 惑 小林 章子③ 一九七四年十月十四日 福岡 伸哉④ お気に召すまま 高橋 和嗣① 「.....」 井坂 ゆり子② 私の中の幻想 古谷 郁男③ 卒研における試行的自己分析 設楽 学④ 最 近 白倉 悦子① 気になるやつ 笠井 幸夫② ある日の船橋 六畳の間 今の若い者は 岡 信太郎 (国文学科 2 年) スケッチ 佐藤 司④ 速研での半年、そして・・・ 松井 由美① 「スペシャリスト」への勧め 片岡 俊英② 速記・速研のこと 八木 路子③ 大学生生活 勝田 潔④ 忙中閑話 徳永 龍三① ある日曜日 今井 久善① 回想から 田中 正見④ 水 玉 樋口 正一② 雑 記 大橋 一晃④ 夢の中で 扇谷 栄子② 雪 佐久間 洋子① 終末から夜明けへ 木村 信也 (OB) 速研を思う 土田 五十二 (OB) 環境と人間 川村 千代見② 第 27 回全日本学生速記競技大会 (編集部) 第 13 回関東大学速記競技大会 (編集部) 第 13 回関東大学速記新人戦 (編集部)

		編集後記	古谷／赤松／美濃谷
第 15 号 S51.3.1 (1976) 56 p.	石川 高央 ／ 赤松 崇男	巻頭言	萩原 巧③ (副幹事長)
		あしあと 新たなる第一歩を踏み出す前に ..	石川 高央③ (幹事長)
		幹事雑感	萩原 巧③ (副幹事長)
		いいたいことはただ一つ	笠井 幸夫③ (指導部長)
		幹事を終えて	樋口 正一③ (総務部長)
		私は果たして負け犬だったか? ..	田中 利幸③ (企画部長)
		孟浪の談	赤松 崇男③ (編集部長)
		座談会「速研を語る」	赤松 崇男③ (司会)
		(大本・八木・樋口・高橋・宮本・	笠井 幸夫③ (速記者)
		徳永・月永・松井・加藤・宮本・島本・白井・篠塚・森田・中井)	
		学年会報告 一年生会	
		二年生会	
		いくなみ会 (三年生会)	
		四年生会	
		サークルと私	今井 久喜②
		「井上ひさし」の作品を読んで	扇谷 栄子③
		母胎回帰	加地万紀子①
		チャンス考	片岡 俊英③
		あなたへ	加藤 令子②
		生きる力	川村千代見③
		男酒のんだら?	国枝 律子②
		コーヒープレイク	小林 章子④
		「パンフレット」	佐々木 悟④
		星空のロマン	篠塚 光夫①
		青春の中で	島本 学①
		サッカー部部員殿	白井 直樹①
		吉川さんの講演を聞いて	須郷 純①
		さて、ふとんを出るとするか	高岡 信也④
		大学生活までそして今	高橋 欣也③
		夏の日に異常あり	田中 利幸③
		アウトロー的並びにガラス細工的歴史的考察	ケンタロー②
		我ら一年三組	角田喜世子①
		「ひと夏の経験」	藤堂 潤一①
		「私の課題」	中出 幸夫①
		名所原宿東京にあらず	西元 亨①
		広島の旅	松村 久①
		過去・現在・未来	宮本 和子①
「読書の秋です」	宮本 通③		
東京生活で学んだこと	八木 路子④		
第終章	古谷 郁男④		
雑感 久善進藤 浩二 (OB)			
速研の皆さんへ	吉川 欽二 (OB)		
第 29 回全日本学生速記競技大会	(編集部)		
第 14 回関東大学速記競技大会	(編集部)		
第 30 回全日本大学速記競技大会	(編集部)		
編集後記	赤松・原口・小林・松浦・夏目		
第 16 号 S52.7.1 (1977) 32 p.	高橋 和嗣 ／ 小林 肇	巻頭言	今井 久善③ (副幹事長)
		第 31 回全日本大学速記競技大会	(編集部)
		第 32 回全日本大学速記競技大会	(編集部)
		第 15 回関東大学速記競技大会	(編集部)
		あしあと 春夏秋冬	高橋 和嗣③ (幹事長)
		幹事雑感	今井 久善③ (副幹事長)
		一九七六年	徳永 龍三③ (研究指導部長)
		会計部長任期終る	国枝 律子③ (会計部長)
		今になって思うこと	月永賢太郎③ (総務部長)
		こんな私でも	小林 肇③ (編集部長)
		速記研究会 '76	(編集部)
		速研 50 周年に寄せて	
		「無題」	佐竹康平 (速記研究会顧問)
		小俣 守民 (OB・三期生)
.....	三好 公明 (OB・八期生)		
特集 私に好きなもの			
.....	高橋 欣也④		
.....	中村佐都美①		
.....	岡本 他郎 (ペンネーム)		

		<p>思考並びに嗜好錯誤 八州史 (ペンネーム)</p> <p>小さな生命体 大森左知子②</p> <p>なぜ二〇〇が書けないか 笠井 幸夫④</p> <p>於 京浜東北線 加地万紀子②</p> <p>害になる話 小林 肇③</p> <p>「夏の学習」 宍戸 日本③</p> <p>僕ももうすぐ二十才になります 島本 学②</p> <p>一年という年月を過ぎて 須郷 純②</p> <p>編集後記 小林・前田・篠塚・西元・加地・角田</p>
<p>第 17 号 S53.8.29 (1978) 44 p.</p>	<p>島本 学 西元 亨</p>	<p>巻頭言 篠塚 光夫③ (副幹事長)</p> <p>あしあと きょうまで そして明日から 島本 学③ (幹事長)</p> <p>「嗚呼・・・」 篠塚 光夫③ (副幹事長)</p> <p>幹事雑感 藤堂潤一③(研究指導部長)</p> <p>幹事を終えて 原 正③</p> <p>「あしあと」 宮本 和子③ (総務部長)</p> <p>愛すべき“ひこばえ” 西元 亨③ (編集部長)</p> <p>学年会報告 四年生会の栄光と挫折 今井 久善④</p> <p>三年生会報告 加地万紀子③</p> <p>速研 '77 (編集部)</p> <p>特別企画 “ひこばえ” 誕生 (編集部)</p> <p>甦える新聞 赤松 崇男 (十三期生)</p> <p>あの頃 村瀬 偉子 (九期生)</p> <p>組織・人間・速記 大橋 一晃 (十一期生)</p> <p>活動の指標として 高岡 信也 (十二期生)</p> <p>最後に 西元 亨 (編集部長)</p> <p>ありがとうみなさん そしてさようなら 国枝 律子④</p> <p>鎌倉そぞろ歩き 鈴木 文代①</p> <p>退望の多摩校舎 山村 敏幸②</p> <p>ことばの重み 中村佐都美②</p> <p>数学科というところ 今村 良彦②</p> <p>批判 内藤 丈義①</p> <p>日本サッカー協会から 福田 智子②</p> <p>秋の午後 綿拔 豊昭①</p> <p>「大村益次郎」考 原 正③</p> <p>P o e m 長谷川泰代①</p> <p>速研のそして人生の先輩から</p> <p>情報化時代の記号 佐竹 康平 (顧問)</p> <p>警察からのメッセージ 盗みはいけません 大本 佳宏 (十二期生)</p> <p>青い信号 石沢 和子 (七期生)</p> <p>速記私観 吉川 欽二 (三期生)</p> <p>多摩移転に当たって 速研に望むこと 吉川 欽二 (三期生)</p> <p>ちょっとだけ時間をください 高岡 信也 (十二期生)</p> <p>近況と学生時代を振り返って 安田 忠 (二期生)</p> <p>第 16 回関東大学速記競技大会 (編集部)</p> <p>第 16 回関東学生速記新人戦 (編集部)</p> <p>第 33 回全日本大学速記競技大会 (編集部)</p> <p>編集後記 N</p>
<p>第 18 号 S55.3 (1980) 34 p.</p>	<p>後藤 英二 桐山 最勝</p>	<p>巻頭言 山村 敏幸③ (副幹事長)</p> <p>あしあと 未来を切り開け 後藤 英二③ (幹事長)</p> <p>「理工学部ふたりぼっち」 山村 敏幸③ (副幹事長)</p> <p>別れる前に一言 遠藤常二郎③ (研究指導部長)</p> <p>ゆずり葉 中村佐都美③ (会計部長)</p> <p>開き直り発言 桐山 最勝③ (編集部長)</p> <p>特別企画 速研の現状と未来 編集部</p> <p>速記と速研活動について 佐竹 康平 (顧問)</p> <p>練習ということ 吉川 欽二 (三期生)</p> <p>ちょっと失礼 笹野 勝己 (十一期生)</p> <p>速研改革私論 遠藤常二郎③</p> <p>速研が速研でありつづけるために 後藤 英二③</p> <p>相変わらずの私です 国枝 律子 (十四期生)</p> <p>僕らの中学 西元 亨 (S中第一期卒業生)</p> <p>大学生活を終えて 須郷 純子 (十五期生)</p> <p>数学と数学教育 今村 良彦③</p> <p>ある夏の日に 中村佐都美③</p> <p>山 中野 一昭①</p> <p>十一月十九日朝 鈴木由希子①</p>

		第17回関東大学速記競技大会 (編集部) 第17回関東学生速記新人戦 (編集部) 第36回全日本大学速記競技大会 (編集部) 編集後記 桐山・中村・佐藤
第19号 S55.11 (1980) 28p.	? / ?	巻頭言 小林 秀夫③ あしあと 幹事を終えて 佐藤 一夫③ (幹事長) 幹事を終えて 海江田豊範③ (副幹事長) 幹事を終えて 緒方 博之③ (指導部長) 幹事を終えて 谷茂岡英夫③ (会計部長) 短い三年間 中島 康雄③ (企画部長) 幹事を終えて 内藤 丈義③ (総務部長) 幹事を終えて 小林 秀夫③ (編集部長) 雑感 東 左和子③ 速研生活を振り返って 山崎マリモ③ 山が消えるとき 中野 一昭② 筆のむくまま 山村 明彦② あかいふうせん 池田 優子② 速研における私の位置 高木 浩行① 赤い帽子 久保 陽子① 速研のそして人生の先輩から 私と速記 佐竹 康平 (顧問) 速記を学ぶこと 斉藤 良夫 大きく羽ばたけ、中大速研 吉川 欽二 雑感・谷中の里より 島本 学 特別企画 速研意識調査 (編集部) 第18回関東大学速記競技大会 (編集部) 第12回関東学生速記競技会 (編集部) 第37回全日本大学速記競技大会 (編集部) 第38回全日本大学速記競技大会 (編集部) 速研'79 (編集部) 編集後記 小林・山崎・三宅・前田・池田
第20号 S.. (19) p.	/	巻頭言 (副幹事長) 第回全日本大学速記競技大会 (編集部) 第回関東大学速記競技会 (編集部) 編集後記
第21号 S60.2.1 (1985) 46 p.	? / ?	巻頭言 木村 健治④ サヨナラは八人のララバイ 「自己主張」 木村 健治④ 第四学章・ Rond形式・「メッセージ」 .. 高橋 修④ 東京との出逢い 大島ゆかり④ 一つの時代 藤本 幸久④ 『企画部・そして速研に思いを込めて』 .. 増淵 俊之④ 私の学生生活 大貫 咲子④ 大学生生活の思い出 稲垣 博④ ところ変われば 渡部 真美④ 四年まるごと HOW マッチ 四年生の自己分析 増淵俊之・大島ゆかり・木村健治・ 稲垣博・高橋修・渡部真美・藤本幸久・大貫咲子 一つのテーマで「原文帳」 原文帳に捧ぐ 藤本 幸久④ 「原文帳とのつき合い方」 増淵 俊之④ 木村 健治④ 渡部 まみ④ 原文帳 稲垣 博④ 原文帳 大貫 咲子④ 原文帳様 高橋 修④ 原文帳 大島ゆかり④ 速研アンケート (編集部) もしも、の世界 もし今 中大速研幹事だったら 佐竹 康平 もしも、あのとき..... 島本 学 (五十四年卒) もしも私がオトコだったら 久保 陽子 (五十八年卒) 後輩によるおしゃべり人物伝 「私とあなたの四年生」 宮島 竜志③ 僕から見た四年生 石川 賢一② 「四年生と私」 安田 麗子①

		泰斗（寄書き）…………… 座談会 二十一期生は警告する（未来の速研） 増淵・藤本・渡部・木村・大島・高橋・稲垣・大貫 第22回春季関東学生速記競技大会……………（編集部） 第5回秋季関東学生速記競技大会……………（編集部） 第45回全日本大学速記競技大会……………（編集部） 第46回全日本大学速記競技大会……………（編集部） 編集後記……………高橋・木村
第22号 S61.3.3 (1986) 84 p.	? / 四年学年会 (二十二期生)	巻頭言……………株本 政尚④ 毎度おさわがせします 松田宛の手紙……………（松田久良④） さようなら ありがとう……………岩月 幹④ 私の大学事始 その表と裏……………金子 直史④ 人生の中のある四日間……………小熊 信義④ 「学校給食と宮城野」……………西山 崇子④ 「目盛」 メモリ……………（安藤正博④） ベスト・フレンズ……………株本 政尚④ んちうんちうんちうんちうん……………立花香緒里④ とっても ふるかわくん……………古川 公一④ 精神一到何事か成らざらん……………在田加代子④ ノリコ……………竹内 信子④ 酒 跡……………（? ④） 言いたい放題……………宇都 直子④ 「半分OB」の考え……………安藤 正博④ 学年会のみんな……………尾原 圭一④ アルト 母なる大地を目指して……………新井 清美④ ……岩崎 弘④ 私の恋の遍歴……………沖田 純子④ 日韓合同ワークキャンプ……………坂田 範夫④ ……一色 圭子④ 「気がつけば速研」 新歓コンパ……………K・O 今は亡き人々を偲んで……………M・K 学 祭……………K・A 二年秋の関東大会……………T・N 新 勸……………N・U 三年学年旅行……………M・I 伝説の夏合宿 1984……………（金子） 温泉旅行……………H・M Back To The Future 群馬県の巻……………岩崎 弘④ 能 登…………… 速研三巨頭 新潟を斬る！……………安・宮・小 さいたま…………… 東京編……………在田加代子④ 千葉県……………沖田 純子④ 大神奈川縣史……………仙人 「我が街 富士市」……………西山 崇子④ 「さわやかな愛知県。私のふるさと」……………岩月 幹④ ひろしま……………坂田 範夫④ 来てみる阿呆にこない阿呆…………… 四国共和国……………一色 圭子④ おしえ子らよ 現四年生(22期生)諸君の思い出……………佐竹 康平 お世話になったあの方より……………近藤 裕司 (20期生) 四年の皆さんへ……………大島ゆかり (21期生) お世話になったあの方へ……………北島 俊之③ “それぞれの巣立ち”……………笠原 智絵② 四年生について……………今仲 竜利① 自己満足的なアンケートちょーさのお知らせ！ 4年生 実はこんな人でした 編集後記……………一色・株本・宇都・岩月
第23号 S62.1.31 (1987) 40 p.	?	巻頭言……………菅井 秀彦④ 批判 — 総会を前にして —……………石川 賢一④ 僕ととつつあんとセンタク屋……………井上 証④ 私の夢……………浦 栄子④ LOVE STATION ・ 速研……………大貫 公誠④

「力と波長」	小沢 達也④
速研のおかげです	北島 俊之④
「人、ヒト、ひと」	木原 朋子④
「現役速研会員の引退に当たって」	木村 陽子④
今後、速研に望むこと	齊藤麻奈美④
我が愛する速研へ	菅井 秀彦④
「基本」	高木 章智④
一枚の葉書	高坂 淳志④
現役最後の自己主張	高橋 洋吉⑤
HOW STRANGE !	田村 隆行④
坂の上の雲	藤森 弘次④
存在感	細田 克浩④
F.T フラワーチーム史 — フラワーチームの生態記録 —	
サッチャンと速研	佐竹 康平
速研今昔物語 あのころは、よかった	笠井 幸夫OB
OB会長雑感	山村 敏幸/律子OB
三年前の<一年坊主>たちへ	木村 健治OB
二十三期生の指導に当たって	藤本 幸久OB
外から見た中大速研 “お見事”	釜江 義明 (関学)
〃 速研合宿後始末記	鈴木伊知朗 (合宿ガイドセンター)
四年生の先輩方への追想	龍野 紀子③
「花の、色は、まっきいろ」	中野 寿子②
私から見た四年生	真仁田 環①
第 45 回全日本大学速記競技大会	(編集部)
第 46 回全日本大学速記競技大会	(編集部)
第 47 回全日本大学速記競技大会	(編集部)
第 48 回全日本大学速記競技大会	(編集部)
第 49 回全日本大学速記競技大会	(編集部)
第 50 回全日本大学速記競技大会	(編集部)
第 51 回全日本大学速記競技大会	(編集部)
第 52 回全日本大学速記競技大会	(編集部)
第 22 回春季関東学生速記競技大会	(編集部)
第 5 回秋季関東学生速記競技大会	(編集部)
第 23 回春季関東学生速記競技大会	(編集部)
第 6 回秋季関東学生速記競技大会	(編集部)
第 24 回春季関東学生速記競技大会	(編集部)
第 7 回秋季関東学生速記競技大会	(編集部)
第 25 回春季関東学生速記競技大会	(編集部)
第 8 回秋季関東学生速記競技大会	(編集部)
編集後記	木村・細田・高橋・北島・菅井